

次期総合計画
(第2次素案 イメージ)

平成 22 年 9 月

栃 木 県

政策の基本 人づくり	3
人をはぐくむ	5
子ども世代	5
若者世代	7
大人世代	9
子育て世代	9
人を活かす	11
若者世代 ～ 大人世代	11
シルバー世代	13
文化を通じた人づくり	15
スポーツを通じた人づくり	16
重点戦略1 暮らしを支える安心戦略	17
安心の子育て環境づくりプロジェクト	19
地域でつくる福祉環境プロジェクト	23
元気で健やかな暮らし実現プロジェクト	25
地域コミュニティ再生プロジェクト	29
日々の暮らしの安全・安心実現プロジェクト	31
重点戦略2 明日を拓く成長戦略	33
パワーアップとちぎプロジェクト	35
フードバレーとちぎプロジェクト	39
観光立県とちぎづくりプロジェクト	41
個性輝くとちぎの地域づくりプロジェクト	43
重点戦略3 未来につなぐ環境戦略	45
エコな暮らしの推進プロジェクト	47
環境を起点とする活力の創出プロジェクト	49
人と自然が共生するとちぎの実現プロジェクト	51

政策の基本 人づくり

とちぎづくりの原動力は人であり、「人づくり」こそ、これからのとちぎづくりの原点です。

県民一人ひとりが地域や社会の担い手となり、力を発揮することができる「人づくり」を進めます。

人づくりの視点

「人づくり」では、

人をはぐくむ

人を活かす

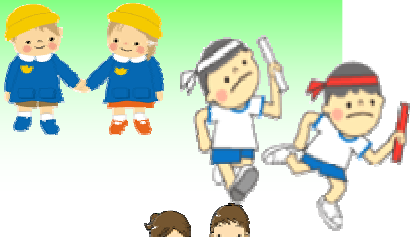
の2つの視点に立って、人の成長や人生の節目に合わせながら、子ども世代、若者世代、大人世代、シルバー世代の4つのライフステージにあわせた取組を展開します。

まず、「人をはぐくむ」の視点では、一人ひとりが自立し、それぞれの夢や希望に挑戦していく人づくりを進めます。

そして、「人を活かす」の視点では、こうした人たちが、とちぎづくりの担い手として、それぞれの個性や能力を活かしながら活躍できる仕組みづくりを進めます。

さらに、あらゆる世代が参加し、取り組むことができる文化活動やスポーツを通じて人と人とのつながりを深め、人づくりを進めます。

子ども世代



若者世代



大人世代



子育て世代

シルバー世代



人をはぐくむ

成長の基礎を
はぐくむ

人として生きる力を
はぐくむ

一人ひとりの
可能性をはぐくむ

挑戦する心を
はぐくむ

子育て力を
はぐくむ

人を活かす

多様な能力を
活かす

シルバー世代の
知恵と能力を
活かす

文化活動スポーツを通じた人づくり

人をはぐくむ

子ども世代

生きる力を身につけ、夢や希望を持って成長していけるよう、次の時代を担う子どもたちをはぐくみます。

成果指標

授業がわかる児童生徒
の割合（小6・中2平均）

現況（H21）

72.8%

目標（H27）

xx.x%

いじめ解消率

現況（H20）

94.9%

目標（H27）

xx.x%

取組の方向

成長の基礎をはぐくむ

- ・ 幼児期の子どもたちが、基本的な生活習慣や豊かな感性を身につけられるよう、就学前教育の充実を図ります。

人として生きる力をはぐくむ

- ・ 子どもが成長に応じて「読む、書く、計算する」といった基礎的知識や基本的技能を身につけられるよう、自ら学習に取り組む意欲を高めるとともに、地域の力を活かしたきめ細かな指導を充実し、確かな学力づくりを進めます。
- ・ 子どもが社会と接する機会や、自然を肌で感じる体験を充実させるとともに、地域が一体となって子どもを育てる意識を高めるなど、子どもたちの豊かな人間性をはぐくむ環境づくりを進めます。
- ・ やがて大人になる子どもたちが、基本的な生活習慣や食習慣を身につけるとともに、運動や文化活動に積極的に取り組めるよう、家庭や学校、地域における環境づくりを進めます。
- ・ 障害のある子ども一人ひとりに応じた指導と支援を充実します。

人をはぐくむ

若者世代

一人ひとりの個性や能力を存分に発揮し、夢や目標の実現に向け自らの力で人生を切り拓いていけるよう、これからのとちぎを担う若者の可能性をはぐくみます。

成果指標

新規学卒者（大学）の
就職内定率

現況（H21）

85.7%

目標（H27）

xx.x%

知的障害特別支援学校
高等部卒業者の就職率

現況（H21）

30.1%

目標（H27）

xx.x%

取組の方向

一人ひとりの可能性をはぐくむ

- ・若者が主体的に自らの進路を選択できる能力や、将来に向けて必要となる勤労観、職業観をはぐくむ、キャリア教育の充実を図ります。
- ・若者が社会の一員としての自覚を持ち、自ら力を発揮する意欲を高めるため、社会参加を促進します。
- ・若者一人ひとりの勤労意欲や適性、能力に応じた専門的な就労相談、自らの職業生活を切り拓く能力開発に向けた職業訓練などの支援を行います。

人をはぐくむ

大人世代

一人ひとりが自己実現に向けて、様々なチャレンジやキャリアアップに取り組んでいけるよう、大人世代の挑戦を支援します。

取組の方向

挑戦する心をはぐくむ

- ・就職や創業に安心して繰り返し挑戦できるよう、職業選択の可能性を広げ、誰もがキャリアアップできる就労支援の充実に取り組みます。
- ・働きながら、新たな知識や技術を習得し能力向上を目指せる環境づくりに取り組みます。

子育て世代

子育て世代が子どもの健やかな成長とともに自らをはぐくんでいけるよう、子育て力を高めます。

取組の方向

子育て力をはぐくむ

- ・親の子育て力を高めるとともに、将来の親となる子どもたちの子育て力をはぐくむ学習機会の充実に取り組みます。
- ・社会全体で家族の絆をはぐくむ取組を進めます。

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

人を活かす

若者世代 ~ 大人世代

自らの個性や能力を活かして若者や大人がとちぎづくりに参画できるよう、社会参加活動を促進します。

成果指標

社会貢献活動参加率

現況 (H21)

20.6%

目標 (H27)

xx.x%

取組の方向

多様な能力を活かす

- ・社会活動についての意識を高め、学習機会を充実することによって、一人ひとりの社会参加を促進します。
- ・ボランティアなどに関する情報の提供や活動と人とを結びつけるマッチング機能を強化するとともに、地域の課題解決や地域づくりに自ら参加できるよう、県民協働の仕組みづくりに取り組みます。
- ・女性が社会の様々な分野でさらに活躍できる環境づくりに取り組みます。

人を活かす

シルバー世代

高齢者が長年培ってきた知恵や能力を活かし、とちぎづくりの担い手として活躍できるように、シルバー世代の社会参加を促進します。

取組の方向

シルバー世代の知恵と能力を活かす

- ・高齢者が長年培ってきた知恵や能力を活かして、社会を担う人として活躍し続けられるよう、シルバー世代の意欲を活動に結びつける仕組みづくりや交流機会の確保に取り組めます。
- ・高齢者の経験や技術が発揮されるよう、就労支援の充実に取り組めます。

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

文化を通じた人づくり

あらゆる世代が、とちぎの優れた文化に親しむことを通じて、ふるさとに対する愛着や世代間のつながりを深めていけるよう、文化を通じた人づくりを進めます。

成果指標

芸術・文化活動等参加
率

現況（H21）

47.6%

目標（H27）

xx.x%

取組の方向

地域文化の継承による新たな文化の創造と世代間交流の促進

- ・地域の伝統文化や芸術に触れ、様々な活動に参加し、新しい文化を創造することができる環境を整えるとともに、生涯を通じて文化に親しむ人をはぐくみます。
- ・文化活動を通じた地域における世代間交流の場づくりに取り組みます。

スポーツを通じた人づくり

スポーツによって世代や地域を超えた交流を広げ、つながりを深めながら、健やかに生涯を楽しめるスポーツを通じた人づくりを進めます。

成果指標

総合型地域スポーツクラブ会員数

現況（H21）

22,113 人

目標（H27）

xx,xxx 人

取組の方向

スポーツによる健全な心身の形成と世代間交流の促進

- ・県民一人ひとりが健やかな心身で生涯を楽しめるよう、スポーツに親しむ習慣づくりや、その人に応じた体力の向上など、スポーツを通じた人づくりを進めます。
- ・だれもが、いつでも、どこでも気軽にスポーツを楽しめる世代間交流の場づくりを進めます。

1 暮らしを支える安心戦略

～ 健やかで安心な暮らしを実現するために～

めざすところ

誰もが安心して子どもを産み育てることができ、年齢や障害の有無にかかわらず生きがいを持って自らの人生を描ける社会の実現を目指します。

また、地域を支えるすべての人の連携により、暮らしの基本となる安全を確保し、安心で明るい地域社会を実現します。

現状と課題

少子化の急速な進行とともに、核家族化や都市化の進展に伴う家庭や地域の子育て力の低下など、子どもと家庭を取り巻く環境が大きく変化しており、次の時代を担う子どもたちを安心して産み育てることができる環境づくりが求められています。

家庭や地域で助け合う力が弱まり、住民同士の社会的なつながりが薄れる中で、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりが求められています。

長寿社会にあって、県民一人ひとりが健康寿命を伸ばし、生涯にわたって健やかであるための健康づくりの推進や、誰もが良質で適切な医療を受けられる医療提供体制の整備充実などが求められています。

地域社会が変容する中で、防犯や防災、身近な助け合いなど地域コミュニティが担ってきた機能の再生が求められています。

食の安全や消費生活を脅かす出来事が次々と発生し、高齢者の交通事故も後を絶たないなど、日々の生活における安全と安心の確保が求められています。

重点戦略とプロジェクト

重点戦略

プロジェクト

1 暮らしを支える安心戦略

1 安心の子育て環境づくりプロジェクト

2 地域でつくる福祉環境プロジェクト

3 元気で健やかな暮らし実現プロジェクト

4 地域コミュニティ再生プロジェクト

5 日々の暮らしの安全・安心実現プロジェクト

プロジェクトの目標

子育てに夢を持ちながら、それぞれの家庭や地域において、次の時代を担う子どもたちを健やかに生み育てられる環境づくりを進めます。

成果指標

身近な子育て相談・支援体制の充実度*

現況 (H21)
53%

目標 (H27)
62%

保育所待機児童率

現況 (H21)
0.3%
(全国平均 1.2% 24位)

目標 (H27)
0.0%

里親等委託率

現況 (H21)
15.6%

目標 (H27)
19.0%

男性の育児休業取得率

現況 (H21)
2.4%
(全国平均 3.6% 18位)

目標 (H27)
x.x%

公立小中学校の耐震化率

現況 (H22)
64.3%
(全国平均 73.3% 36位)

目標 (H27)
xx.x%

* 小学校の通学区域内に子育て支援拠点施設（地域子育て支援拠点施設、児童館、子育てサロン等）がある地域の割合

重点的取組

地域における子育ての支援

- ・結婚と子育てに対する意識を高めるとともに、子育て中の家庭の負担を軽減するため、身近な地域での相談体制の整備や子育てを住民同士で支え合う活動の充実を図ります。

保育サービスの充実

- ・入所待機児童の解消を目指し、保育所の整備促進を図るとともに、様々な働き方や子育て家庭の状況に対応できる多様な保育サービスの充実を図ります。

子どもを守りはぐくむ体制づくり

- ・深刻化する児童虐待問題に対応するため、地域における子どもたちの見守り体制を整備するとともに、様々な事情により親と別れて生活することを余儀なくされる子どもたちへの、より家庭的な養育環境の整備を促進します。
- ・経済面や生活面で不安を抱えるひとり親家庭に対して、自立した生活の実現を図るための就業支援等を推進します。

仕事と子育ての両立支援

- ・仕事と家庭の両立を実現できるよう、出産や育児で退職した女性の再就職を支援するとともに、子育てしやすい職場環境の実現に向けた企業等の取組を促進します。

学校及び学校周辺における安全の確保

- ・子どもたちが安全で安心な環境の中で学ぶことができるよう、学校の耐震化や通学路の歩道の整備を進めるとともに、地域における見守り体制の整備など、登下校時の犯罪や事故を防ぐための環境づくりを促進します。

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

プロジェクトの目標

高齢者や障害のある人が、家庭や住み慣れた地域の中で、安心して自立した生活を送れる環境づくりを進めます。

成果指標

介護を必要とする高齢者* 1万人当たりの特別養護老人ホーム等定員数

現況 (H21)
1,917 床
(全国平均 2,254 床 30 位)

目標 (H27)
2,700 床

障害者雇用率

現況 (H21)
1.54%
(全国平均 1.63% 42 位)

目標 (H27)
x.xx%

* 要介護 1～5 認定者

重点的取組

地域における支え合いの推進

- ・高齢者や障害者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、福祉・介護職員の確保と処遇改善、資質向上を図るとともに、地域で福祉を支えるボランティア人材の養成を推進します。
- ・高齢者やその家族が、それぞれの地域で安全に安心して暮らせるよう、地域住民による支え合い体制の構築や相談支援体制の充実を図ります。
- ・高齢者が安心して快適に暮らせる多様な住まいの確保を進めます。

障害者が地域で暮らせる体制づくり

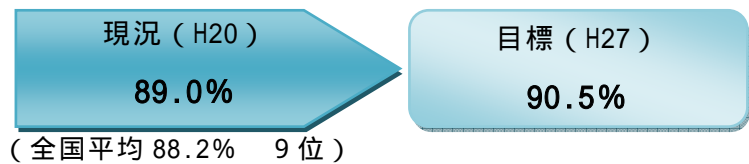
- ・障害者の日常生活における多様なニーズに対応するため、関係機関の連携による質の高い相談支援体制を整備します。
- ・就労を通じた障害者の社会参加を促進するとともに、職業的自立が図られるよう、所得や雇用率の向上に向け、就労支援の一層の充実に努めます。

プロジェクトの目標

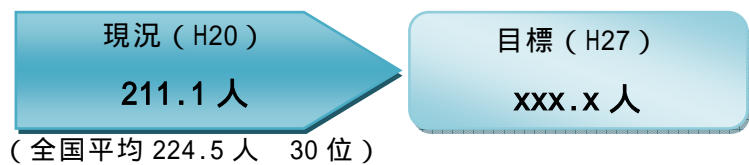
長寿社会にあって、すべての県民が、生涯を通じて心身ともに健康でいきいきと暮らせる環境づくりを進めます。

成果指標

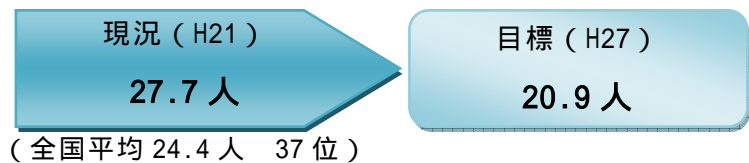
健康長寿高齢者の割合



人口10万人当たりの医師数



人口10万人当たりの自殺者数



重点的取組

長寿社会における健康づくりの推進

- ・健康寿命を延ばし、生涯にわたり健康でいきいきと暮らせるよう、食生活や運動等の日々の生活を通じた県民一人ひとりの健康づくりを、家庭、学校、職場、地域など社会全体が一体となって支えていく環境づくりを、より一層推進します。
- ・県民一人ひとりが、がん、心疾患、脳卒中、糖尿病等の生活習慣病を予防する意識を高め、生活習慣の改善に取り組むよう働きかけるとともに、疾病の早期発見のため、検診受診の促進に努めます。

地域で安心できる医療の確保

- ・誰もが住み慣れた家庭や地域で、安心して暮らせるよう、在宅医療体制の充実を図ります。
- ・かかりつけ医を中心とした地域医療体制を確立するとともに、限られた医療資源を有効に活用するため、救急医療等の様々な医療体制において医療機関の機能分担や連携を進めます。
- ・医療の基盤である医師、看護師等の医療従事者の確保対策を推進するとともに、資質向上を図ります。

総合的な自殺対策の推進

- ・心の健康や生活、就労などに包括的に対応する相談支援体制の整備を図るとともに、関係機関の連携を強化し、様々な問題を一つひとつ解決へと導くネットワークづくりを進めます。
- ・地域における「気づき」「つなぎ」「見守り」機能を強化します。

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

プロジェクトの目標

地域の住民同士が力を合わせて地域づくりや防犯・防災等に取り組むことにより、人と人がつながり合うあたたかな地域コミュニティの再生を目指します。

成果指標

自主防災組織世帯カ
バー率

現況 (H21)

85.4%

(全国平均 73.5% 10位)

目標 (H27)

xx.x%

移動不便地域における
生活交通カパー率

現況 (H22)

xx.x%

目標 (H27)

xx.x%

重点的取組

住民による地域コミュニティの再生

- ・地域づくりの中核を担う人材を育成するとともに、NPOやまちづくり団体、自治会等の様々な主体と行政、あるいは様々な主体同士が相互に連携して知恵を出し合い協働することによって、地域における多様なニーズや課題に対応していきます。

住民の助け合いによる防犯・防災の推進

- ・自分たちのまちは自分たちで守るとの意識のもと、性別や世代を超えた取り組みとして、個人や家庭、地域、企業、各種団体が行う、日常的な防犯・防災活動を推進します。

地域の移動手段の確保

- ・高齢者をはじめ誰もが安心して快適に暮らせ、社会参加ができるよう、地域における移動手段の確保に向けた取組を推進します。

プロジェクトの目標

食の安全や地域の交通安全を確保するとともに、生活に直結する様々な問題の相談体制等を強化することにより、安全で安心な生活の実現を目指します。

成果指標

食の安全性に不安を感じている人の割合

現況 (H21)
79.3%

目標 (H27)
xx.x%

高齢者10万人当たりの交通事故死者数

現況 (H21)
13.8人
(全国平均 8.5人 9位)

目標 (H27)
xx.x人

人口1,000人当たりの刑法犯認知件数

現況 (H19)
15.1件
(全国平均 14.9件 10位)

目標 (H27)
xx.x件

重点的取組

消費生活における安全・安心の確保

- ・消費者被害の防止や救済のため、市町村消費生活センターの設置を促進します。
- ・製造される食品の安全性を高めることや食品表示の適正化を図るほか、消費者と製造者、行政が情報の公開や共有化を進めることによって食に関する安心の確保を図ります。

高齢者の交通事故抑止

- ・交通事故死者の約半数を高齢者が占めることから、高齢者自身の交通安全意識を高めるとともに、誰もが高齢者に優しい運転を心がける意識の浸透を図ります。

被害者等支援の推進

- ・犯罪被害者やその家族がおかれている現状を理解し、社会全体で支えていく取組を推進します。

犯罪が発生しにくい地域づくり

- ・関係機関の連携と協力のもと、犯罪の未然防止に努めるとともに、地域の連帯によって日常生活を脅かす犯罪が発生しにくい社会づくりを進めます。

2 明日を拓く成長戦略

～ 活力と魅力あふれる地域をつくるために～

めざすところ

本県の強みを活かした経済、雇用を牽引する力強い成長産業を生み出すとともに、多様な主体による創意工夫を凝らした地域づくりを推進することによって、地域に活力があふれ、すべての県民が豊かさを実感でき、住む人々が住み続けたい、訪れる人々が住んでみたいと思うとちぎの実現を目指します。

現状と課題

激しさを増す地域間競争の中で、本県が引き続き活力ある地域として発展を続けるためには、本県の強みである優れた技術を持つ中小企業の集積や力強い農業などを活かした産業振興策を展開することによって、産業の競争力強化と地域経済の活性化に取り組むことが求められています。

本県は、製造業の比重が高い「ものづくり県」として成長を遂げてきた反面、景気動向の影響を受けやすいことから、国内外の環境変化に対応できる、厚みのある産業構造を構築することが求められています。

人口減少時代にあって、本県の豊富な地域資源を活かした観光を振興することにより、交流人口を増大させ、地域社会や経済を活性化することが求められています。

定住人口の減少や高齢化による地域の活力の低下が危惧される中であって、地域が真に輝き続けるためには、県民や企業など多様な主体の参画と協働により、それぞれの地域で、特色を活かした魅力ある地域づくりを進めることが求められています。

重点戦略とプロジェクト

重点戦略

プロジェクト

2 明日を拓く成長戦略

1 パワーアップとちぎプロジェクト

2 フードバレーとちぎプロジェクト

3 観光立県とちぎづくりプロジェクト

4 個性輝くとちぎの地域づくりプロジェクト

プロジェクトの目標

本県の成長を牽引する先端産業や中小企業、農業などの競争力と成長力を強化し、県内経済の活性化を図ります。

成果指標

製造品出荷額等

現況 (H20)

9兆2,792億円

(全国平均7兆1,067億円 12位)

目標 (H27)

x兆x,xxx億円

株式会社設立登記件数
比率

現況 (H21)

90.4%

(全国平均92.7% 30位)

目標 (H27)

92.7%

企業立地件数 (研究所
を含む。)

現況 (H21)

27件

(全国平均19件 13位)

目標 (H23~27の累計)

225件

農業産出額

現況 (H20)

2,693億円

(全国平均1,841億円 10位)

目標 (H27)

x,xxx億円

重点的取組

本県の強みを活かした産業の振興

- ・本県に高度な集積が見られる自動車、航空宇宙、医療機器、光及び環境産業における産学官のネットワークを活用しながら、県内中小企業の人材育成、研究開発及び販路開拓等を支援し、地域経済全体の活性化を促進します。

挑戦し、成長する企業の創出

- ・創業や新たな事業展開への意欲を高め、新たな挑戦を支援するとともに、地域経済を支える中小企業の経営力を向上し、県内経済に新しい活力を生み出します。

戦略的な企業誘致の推進

- ・本社機能や研究開発機能を備えた地域経済の核となる企業の県内への立地を積極的に推進するとともに、県内で操業している企業の定着を図ります。
- ・企業ニーズに対応した魅力ある産業団地を提供することで、地域経済を牽引する企業の集積を促進します。

力強い農業の推進

- ・とちぎの農業をリードするプロ農家を育成するとともに、農内外の人材や企業体の参入による農業の活性化を図ります。
- ・多様な需要に対応できる産地への転換を促進し、本県農業の競争力を高めます。

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

次期総合計画第2次素案イメージ

プロジェクトの目標

本県の良質で豊かな水や農産物を活かし、食品産業など地域に密着した内需型の産業を振興することによって、国内外の経済環境の変化に左右されない厚みのある産業構造の構築を目指します。

成果指標

食料品製造業の製造品
出荷額等

現況（H20）

4,823 億円

（全国平均 5,307 億円 18 位）

目標（H27）

x,xxx 億円

重点的取組

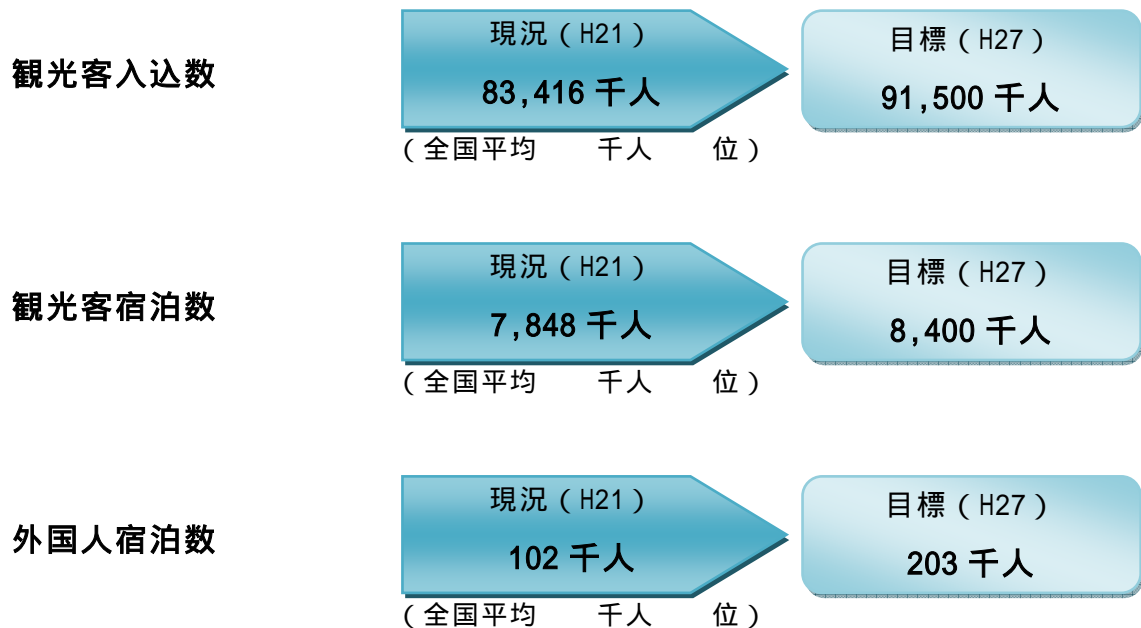
フードバレーとちぎの推進

- ・産学官連携による商品開発、技術開発への支援や、海外市場も視野に入れた販路拡大、さらに本県の豊かな水や農産物を活かした企業誘致を推進し、食をテーマとした地域経済の活性化に取り組みます。
- ・農業者自らが加工・販売に取り組む農業の6次産業化など、関連産業の高付加価値化を推進します。

プロジェクトの目標

本県の優位な立地条件を活かすとともに、自然、産業、文化、暮らしなどの地域資源を観光資源として有効に活用することによって、多くの人々が訪れ、交流する観光立県とちぎを目指します。

成果指標



重点的取組

魅力あふれる観光地づくり

- ・訪れた人が安心して快適に観光ができるよう、地域のホスピタリティ向上を図ります。
- ・その地域ならではの様々な体験や人々とのふれあいができる体験型、交流型観光などの新たな旅行分野を開拓し、多くの観光客に選ばれ、訪れてもらえる魅力ある観光地づくりを進めます。

戦略的な誘客の推進

- ・県内観光地を周遊する長期滞在型の楽しみ方を提案するなど、多様化する観光ニーズを捉えた情報発信、PR活動を行い、誘客活動を戦略的に展開します。
- ・北関東自動車道を活用した広域的な誘客を図るとともに、さらに増加が期待される東アジアを中心とした外国人観光客の誘客対策を推進します。

プロジェクトの目標

住民協働のもと、様々な主体が参加する地域づくりを推進し、交流と連携によるにぎわいを創出することによって、地域の自立と持続的な発展を目指します。

成果指標

地域を誇りに思える県
民の割合

現況（H22）

-

目標（H27）

増加させる

地域づくり団体数 *

現況（H22）

42 団体

（全国平均 88 団体 31 位）

目標（H27）

92 団体

* 自主的、主体的に地域づくりに取り組む団体で構成される「地域づくり団体栃木県協議会」の登録団体数

重点的取組

住み続けたい、住んでみたい地域づくり

- ・自然や景観、文化などの特色ある地域資源を活用することによって、地域の人々が愛着と誇りを持ち、訪れる人が魅力を感じることができる地域づくりを推進します。
- ・日常的な買い物や医療、金融、行政などのサービスが、手軽に身近なところで利用できる、暮らしやすく利便性の高いまちづくりに取り組みます。
- ・とちぎの魅力やとちぎの暮らしに関する情報を積極的に発信するとともに、体験型、滞在型のプログラムを提供するなどによって二地域居住やUJターンを促進します。

交流と連携によるにぎわいのある地域づくり

- ・異なる地域同士が相互に連携し、補完することによって新たな価値を創出するとともに、交流人口の増大によって地域の活性化を図ります。
- ・住民、NPO、企業、大学、行政など様々な主体との協働によって、地域の可能性やニーズを反映した特色ある地域づくりを進めます。

3 未来につなぐ環境戦略

～地球と人にやさしい快適な社会を築くために～

めざすところ

かけがえのない環境を次の世代に引き継いでいくため、豊かな自然を守り育てるとともに、環境負荷を低減し地球温暖化防止に貢献するなど、県民すべてで地球と人にやさしいエコとちぎを目指します。

現状と課題

地球温暖化や廃棄物の増加など環境問題について、県民一人ひとりが自らの問題として捉え、環境への負荷を減らす身近な取組を積み重ね、全県的な活動へと発展させることが求められています。

化石燃料に代わる環境への負荷が少ないクリーンエネルギーの積極的導入や、今後大きな成長が期待される環境関連産業の育成と集積によって、環境と経済が循環しながら持続的に発展していく社会の仕組みづくりが求められています。

県民一人ひとりが自然の大切さを認識し、全国に誇れる県民共有の財産である多様な野生動植物や、日光国立公園に代表される優れた自然、里地里山などの身近な自然を将来にわたって守り育てることが求められています。

重点戦略とプロジェクト

重点戦略

プロジェクト

3 未来につなぐ環境戦略

1 エコな暮らしの推進プロジェクト

2 環境を起点とする活力の創出プロジェクト

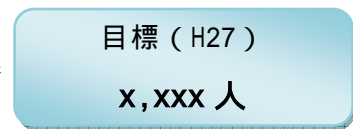
3 人と自然が共生する“とちぎ”の実現プロジェクト

プロジェクトの目標

環境について自ら学び、自ら行動する機会や場を提供し、県民誰もが楽しみながら実践するエコな暮らしを目指します。

成果指標

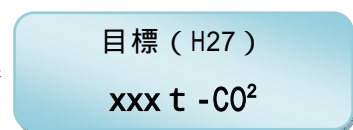
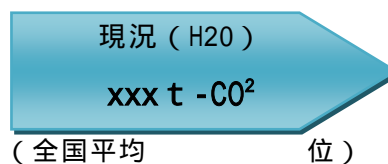
こどもエコクラブ会員
数



県民 1 人が 1 日に出す
ゴミの量 *



家庭からの二酸化炭素
排出量



* 一般廃棄物

重点的取組

環境を守る人材の育成

- ・家庭や学校、地域、職場等の様々な場で、子供から大人まであらゆる世代を対象とする環境学習を積極的に推進し、環境のために自ら学び、自ら行動する人づくりを進めます。
- ・環境保全活動を支え、輪を広げるリーダーを養成します。

身近にできる環境保全活動の推進

- ・県民一人ひとりが楽しみながらエコな暮らしを実践できるよう、様々な主体の協働により、省エネルギーや買い物へのマイバック持参、リサイクルの推進など身の回りでできるエコな取組や環境美化活動や緑化活動などへの参加をより一層促進し、活動の輪を全県に広げます。

暮らしにおける低炭素社会に向けた取組の推進

- ・太陽光発電システムをはじめ、高効率給湯器などの省エネルギー機器の普及拡大を図り、住宅の省エネルギー化を促進します。
- ・交通による二酸化炭素の排出を減らすため、電気自動車などのエコカーへの転換を図ります。
- ・鉄道やバスなどの利用環境をより快適にし、環境にやさしい公共交通機関の利用者の拡大を図ります。また、走行空間等を改善し、自転車の利用促進に取り組みます。

プロジェクトの目標

地域資源を活かしたエネルギーの地産地消の促進や、環境に関連する産業の育成、集積によって、地域の活力向上を目指します。

成果指標

一戸建て住宅1万戸当
たりの太陽光発電システ
ム導入件数

現況 (H20)

195.3 件

(全国平均 166.4 件 17 位)

目標 (H27)

xxx.x 件

産業技術センターから
の環境関連技術移転件数

現況 (H21)

11 件

目標 (H23 ~ 27 の累計)

67 件

産業廃棄物排出量

現況 (H20)

4,208 千 t

目標 (H27)

x,xxx 千 t

重点的取組

環境にやさしいエネルギーの地産地消の挑戦

- ・地域で利用されていない太陽光や中小水力、バイオマス、温泉熱などのクリーンエネルギーの利活用を促進することによって、本県をエネルギーの地産地消型社会へ転換します。

環境関連産業の振興による環境先進県とちぎづくり

- ・本県のものづくりの力を活かし、環境に関連する新技術や新製品の開発を促進するとともに、関連産業の育成と集積を図ります。
- ・生産、流通、販売などの事業活動のあらゆる過程において、事業者による環境への負荷を減らす取組を促進します。

持続的発展が可能な循環型社会の形成

- ・様々な主体の連携による地域循環システムの形成など、バイオマスの総合的な利活用を促進します。
- ・施業の集約化や林内路網の整備などによる低コスト林業を推進するとともに、県産出材などの木材の利用拡大を推進することによって、森林資源の循環利用を図ります。
- ・事業系廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用等の取組を進め、環境にやさしい事業活動への転換を促進します。

プロジェクトの目標

とちぎの豊かで優れた自然環境を守り育てながら、その恵みを本県の貴重な財産として将来に引き継ぎ、人と自然が共生するとちぎの実現を目指します。

成果指標

森林の多様な機能を十分発揮している民有林

現況（H22）

11万 ha

目標（H27）

xx万 ha

外来種駆除活動数

現況（H21）

5箇所

目標（H27）

10箇所

重点的取組

とちぎの豊かな自然環境の保全

- ・ 様々な主体の協働により、自然公園等の貴重で優れた自然や里地里山における身近な自然の保全と適正な利用を促進します。
- ・ 自然とふれあう機会や場、自然に関する情報を提供することによって、県民の自然を大切にすることを育てます。また、自然ふれあい活動の指導者の養成と活用を図るとともに、指導者や活動団体の連携を推進します。
- ・ 「とちぎの元気な森づくり県民税」等を活用して間伐を実施するなど、健全な森づくりを推進するとともに、広葉樹林や針広混交林の整備など多様な森づくりに取り組み、森林の公益的機能を増進します。

生物多様性の確保

- ・ 絶滅のおそれのある希少な動植物を守るため、様々な主体との協働によりその生息・生育地の適切な管理を進めます。また、外来種の影響が深刻化している地域ではその駆除を進め、在来種の保全と再生を図ります。
- ・ シカやイノシシなど農林業に被害を及ぼす野生鳥獣については、広域的に個体数の調整を進めるほか、野生獣が人の生活圏へ進入することを防ぐ緩衝帯をつくるなど、総合的な対策を実施します。